

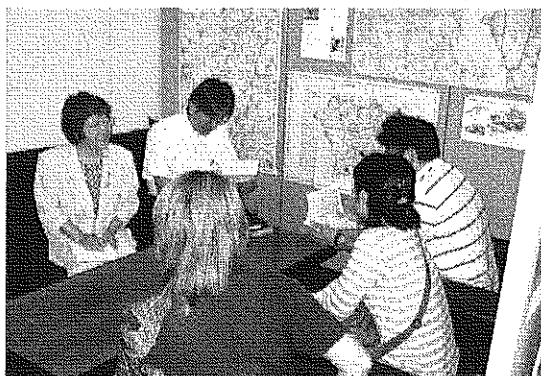
保護者合意なしの 「保育所民営化」は許せません！

6月議会に保育所廃止条例案が提案

わずか7園しかない公立保育園を4園（泉町、小路、柳町、北島）も来年度同時に民営化するための保育所の廃止条例（案）が、13日開会の6月議会に提案され、決定されようとしています。しかし、保護者の不安は解消されず、問題は山積しています。

幼い子どもたちの心に大きな傷残す

6日、保護者の代表者が各会派の議員などに対し「陳情」に來られました。「4園同時の民営化は大阪府では初めてのもやりで、あまりにも一方的過ぎる」「北島保育園がなくなると南西部に公立保育園がなくなり、地域住民の影響が大きい」「保育の継続性が損なわれ、幼い子どもたちの心に大きな傷を残す」など、涙ながらに切実な思いで訴えられました。



「陳情」では保護者の切実な思いが= 6日

4園同時の民営化は、126名の非正規職員の 仕事奪い、残る公立園にも大きな影響！

4園同時に民営化することによって、現在働いている126名もの非正規職員の仕事が一方的に奪われることになりました。市は雇用について責任を持つことはもちろんですが、残る公立園の非正規の先生も園から居なくなることで、子どもたちに大きな影響を与えることとなります。このことから、4園同時の民営化は絶対に避けるべきです。

今後の計画については保護者合意で

共産党議員団は保育所民営化について、人件費抑制のためのもので、保育サービスの後退や子どもたちへの影響が危惧され、門真市ではわずか7園しかない公立保育園は民営化すべきでない」と主張しています。

少なくとも保護者合意なしの民営化は絶対に許せません。6月議会ではこうした立場で、保護者のみなさんの思いを議会に届け、市の姿勢を厳しくただしていきます。